

2014
夏号



西田昭二県議と『ひやくまんさん』



初心を忘れることなく！ 2月議会一般質問・6月議会一般質問

県議会初当選から6月議会で29回の県議会定例会が行われ、これまで初回からずっと一般質問や委員会での質問を続けています。細かな質問もありましたが『地元七尾を大切に』との思いであり県議会議員として県との『つなぎ役』に徹する思いは今も変わりません。以下は、2月議会一般質問及び6月議会一般質問での私の質問と執行部の答弁の趣旨です。

豪雨災害に備えて 【平成26年 2月議会にて】

《質問趣旨》 鷹合川改修工事の今後のスケジュールと御祓川改修計画について聞く。また、熊木川改修工事の今後のスケジュールはどうか

熊木川下流 (七尾市提供)



鷹合川 細口大橋上流 (七尾市提供)



《鈴木土木部長答弁》 鷹合川改修についてはこれまでに御祓川合流地点から国分地内までの約1kmが完成。国分町から上流部の細口大橋までの約600mの区間については、H22年度までに河道を暫定的に約三倍に拡幅するなどの整備を行ってきたところである。今後、も計画的に河道拡幅工事を進め、さらなる治水安全度の向上を図ってまいりたい。また、熊木川の河川改修については全体計画約3.6kmのうち、これまでに河口からのと鉄道橋までの約1.2kmの改修が完了。現在、中島橋の下流において河道拡幅工事を実施、H26.2月末には中島橋の仮橋の工事に着手する。

リニューアルする県立歴史博物館について 【平成26年 2月議会にて】

《質問要旨》 リピーターを増やすため、季節ごとの祭りなど豊富な素材を活かし、展示内容の衣替えも必要と考えるがどのような工夫を考えているのか聞く。

《知事答弁》 県民や観光客の皆様方にこれまで以上に興味や関心を持っていただくことが何よりも大切。祭礼体感シアターでは国指定の重要無形民俗文化財である七尾の青柏祭を初め、能登のキリコ祭りや加賀の獅子舞など本県の民俗文化を象徴する伝統的な祭りの動画を三方の壁全面に配置した大型スクリーンに映し、音響、照明あるいは床の振動なども使い、あたかも祭りに参加をしているような臨場感を演出特別展示室の面積を従来の約1.5倍に拡張して全国レベルの大規模な見応えのある企画展を折々に開催する予定である。



H26.5.2 北國新聞

勇ましい表情の曾我十郎祐成＝七尾市山王町で



H26.5北陸中日新聞

【平成 26年 2月議会】 その他の一般質問

- ◎北陸新幹線開業を見据えた観光振興について
- ◎のと里山海道の無料化と移住対策について
- ◎能越自動車道の建設促進について
- ◎能登の里海の振興策について

【平成 26年 6月議会】 その他の一般質問

- ◎新たな出発を切った遠藤関と丹蔵関について
- ◎能登空港の利用促進について
- ◎今夏の電力需給と七尾大田火電について
- ◎観光誘客について

シャトル特急列車の利用向上について【平成 26年 6月議会にて】

《質問要旨》 北陸新幹線金沢開業後、金沢・和倉温泉間を結ぶシャトル特急の運行が決定したが、本数を維持し、さらに増便してもらうためには、利用客の確保が必要だと考えるがどうか。

《黒野企画振興部長答弁》 シャトル特急の利用しやすい環境づくりについては新幹線開業後の能登方面への重要な交通手段。県や能登総合開発協議会が要望した結果、本年1月に金沢発着のシャトル特急1日5往復、関西方面からの直通特急1往復を創設する方針が示された。また、利便性確保に向けた方策として、大阪駅等で能登方面への特急乗り継ぎの案内表示や金沢駅でのシャトル特急の対面乗り継ぎを可能にすることも示されている。より利用しやすい環境となるようJR西日本に対し、引き続き、しっかりと働きかけていきたい。



H26.5.19北國新聞



H26.6.16北國新聞

漁業者による6次産業化等の取り組みについて【平成 26年6月議会にて】

《質問要旨》 漁業者による6次産業化等の取り組みの現状及び漁業者の6次産業化の推進するため、県はどのように指導・支援していくのか。



ロスへの出荷を前に、魚の鮮度を長く保つ「神経締め」を行う関係者
七尾市鶴浦町

《堀畑農林水産部長答弁》 水産物を活用した取り組みについては、七尾市の鹿渡島定置の漁業者による鮮度の高い魚介類、干物、冷凍品の加工直売が行われているほか、いしかわ里山創成ファンドを活用し、流通が少ない海藻やゴマフグの活用、なまこスイーツの開発等が行われている。さらにブリのたたき等の加工品や海藻を利用したスナック菓子の開発、漁業被害をもたらす大型クラゲの中華料理食材としての利用等、商工業と連携し様々な取り組みを行っている。県としては、漁業者に対し研修などの機会を捉え、6次産業の取り組み事例の紹介するとともに各種支援制度の周知や経営改善に向けた助言を積極的に行っていく。

26.4.24 北國新聞

『きのこ』再生に向けた里山整備について【平成 26年6月議会にて】

《質問要旨》 きのこ再生に向けた里山整備実証事業の内容を聞く。また、能登島で民間団体が取り組んでいるアカマツ林の再生等の地道な取り組みに対し、後押しが必要だと考えるが、県の考えを聞く。

《堀畑農林水産部長答弁》 かつてアカマツ林は薪や炭の材料を得るため手入れが行われ、様々なキノコが発生し森の恵みを与えてくれたが、近年は化石燃料の普及により手入れが行き届かないためアカマツ林が増えキノコの発生も減ってきている。こうした中、能登の里山里海が、世界農業遺産に認定されたことを契機に、企業やNPO等が里山再生を図る取り組みが広がりつつあり、キノコの発生に向けた効果的な作業方法等を、県に対し技術的な支援を求めてきている。このため、林業試験場が再生に向けた最適な作業方法を現場で実証し、その成果をマニュアルとして普及させ、技術指導も行うことにしている。里山の美しい景観の保全や地域資源の活用のためにも重要である。県としても、民間団体が行う里山再生の取り組みをしっかりと後押ししていきたい。



H26.6.1北陸中日新聞

首都圏で次の発信策は

西田昭二氏

(自民)

〈ふるさと祭り東京〉来年は

いかに魅力を発信するか。

谷本知事 全国の祭りを紹介

するメインイベントに、七尾市

の石崎奉燈祭が出演する。地元

の担ぎ手200人で迫力あるキ

リ「祭り」を披露したい。

〈豪雨への備え〉七尾市鷹合



次2月補正で拡幅に向けた追加
予算を計上した。新年度中には
整備を終える。

〈鳥獣被害対策〉狩猟者の現
状と確保策、技術向上への取り
組みを聞く。

水野農林水産部長 免許交付
は06年度913件が12年度13
55件に増えた。わな猟を行う
20、30代が増えている。新年度
は能登にも受験会場を設ける。

知事 200人で石崎奉燈祭披露

来年の「ふるさと祭り東京」

石崎奉燈祭が出演へ

北陸三県で共同スペース

26.2.14北國(夕刊)

県議会一般質問

で、飯田燈籠山祭り(珠洲 谷本知事は開催時期が新
市、御陣乗太鼓(輪島市)、幹線のダイヤ発表直後とな
お熊甲祭(七尾市)、山ることが想定されるとし
代大田祭(加賀市)が招待 「魅力発信の総仕上げ」とし
されている。和菓子や地酒で、これまでの中でも最大
など物産を販売する区画も 規模の取り組みを計画し、
10ブース設けている。 首都圏からの誘客につなげ
たい」と述べた。

石川は準優勝

北信越県議会野球

北信越県議会議員野球大
会は31日、福井市の福井県
営球場で行われた。石川は
1回戦で福井に27-1で大
勝し、続く決勝は長野に1
-13で敗れ準優勝だった。

26.2.15北國新聞

能登で狩猟免許試験

新年度、農作物被害軽減へ

県議会一般質問

県議会二月定例会は十四日、本会議を再開し、西田昭二(自民) 若林昭夫(清風・連
帯) 宮下正博(自民) 井出敏朗(自民) の四氏が一般質問した。堀畑正純環境部長は二〇
一四年度、イノシシなどの農作物被害が増える能登に、狩猟免許試験の会場を設けること
を明らかにした。狩猟者を増やすことで被害軽減につなげる。(田嶋豊、松本浩司)



西田昭二氏

宝達志水町以北の九
市町でのイノシシによ
る被害額は二〇〇七年
に三千万円だったが、
一年には四百四十二
町での合格件数(わ
な、銃の合計)は〇九
年度の三千四百から一
年度は一九七〇(昭和
四十五)年度がピーク
で三千五百五十件。そ
の後は減少して〇六年度
が最低の九百十三件だ
った。わな猟の取得増
で二年度には千三百
五十五件まで回復し
た。六十歳以上が六割
以上を占めて高齢化は
進む一方、わな猟の普
及により二十一、三十代
は増加傾向にある。

26.2.15
北陸中日新聞

県は免許を取得しや
すい環境づくりと並行
し、イノシシ肉利用の
裾野を広げて捕獲意欲
を高めたい考え。西田
氏の質問に答えた。

七尾火力の稼働率示せ

西田昭二氏

(自民)



〈国道249号〉七尾市中島
町外から田岸間は、早期の道路
整備が必要だ。
谷本知事 急カーブが連続す
る区間がある。幅員を広げ、見
通しを良くするバイパス整備に
新たに着手する。
〈七尾大田火力発電所〉志賀
企画振興部長 原発停止後は9割稼働
企振部長 原発停止後は9割稼働
が稼働していた10年度は約6割
で、志賀原発が年間を通して停
止した11年度以降は7割から9
割程度となっている。
〈能登歴史公園〉七尾市の国
分寺地区の整備スケジュールを
示せ。
常田土木部長 公園中央の多
目的広場を集中的に整備してお
り、来年春に約5分を一部開園
する。

26.6.11北國新聞